

## 長野県市長会 6月定例会 会議録

日時：令和4年5月31日（火）15：30～16：10

場所：都市センターホテル 5階「スバル」ほか

### 1 開 会

(久保田事務局次長)

ただいまから、長野県市長会定例会を開会いたします。

はじめに、牛越会長からご挨拶をお願いいたします。

### 2 会長挨拶

(牛越会長)

皆さん、こんにちは。牛越でございます。

本日は、長野県市長会定例会を開催しましたところ、市長の皆様方におかれましては、6月議会を控え、あるいは議会を開会しているところもあると伺いますが、ご多忙の中ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。この定例会を東京で開催できますのは、令和元年度以来、実に3年ぶりとなります。また、全国市長会の開会に合わせて、様々な会議がこのほかにも行われております。忙しい2日間になろうかと思いますが、ぜひ、よろしくお願い申し上げます。

さて、4月の総会では、数々の議題につきまして慎重にご審議いただき、厚く御礼申し上げます。採択されました議題のうち、県の施策に関する事項につきましては、先週25日に、足立副会長とともに阿部知事に要望書を、また、丸山県議会議長並びに高島副議長には陳情書として、それぞれ提出し、実現に向けてのご理解、そして取組を要望したところでございます。

さて、去る4月24日には、伊那市長選挙が行われ、白鳥市長さんが4選を果たされました。心からお祝いを申し上げますとともに、引き続き伊那市のご発展のために全力を尽くして活躍されますことをご祈念申し上げますとともに、長野県市長会の様々な活動につきましても、ぜひ、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

さて、善光寺の御開帳をはじめ、県下では様々な行事、あるいは祭事が開催されており、コロナ禍で中止されていた様々なイベントの再開なども含め、観光地、あるいは飲食店なども賑わいを取り戻しつつあります。

この新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株に置き換わって以降、第6波の感染が長引いておりましたが、陽性者数が著しく減少するという事はまだない状況のもの、確保病床使用率は今月16日以降、25パーセントを確実に下回っておりますことから、県では独自の感染警戒レベルの基準を23日に緩和し、阿部知事は「メリハリのある行動をお願いしたい。」として、「基本的な感染対策は続けながら、会食や旅行というものをしっかり楽しんでほしい。」と述べております。

また、続く26日には、県と市長会、町村会との意見交換が行われ、4回目のワクチン接種の推進と、政府から示されております新しいマスク着用の考え方について意見交換をいたしました。

マスクの着用につきましては、市町村で判断に迷う場合は県にお知らせいただき、情報を共有

するとともに専門家懇談会でも議論したいとして、できるだけ県民に分かりやすくお知らせしたいとの説明がございました。

また、学校の休業ルールの考えにつきましても報告をいただいたところでございます。

いまだ新規の感染者の絶対数は、決して少なくないわけでございます。気を引き締めて社会経済活動を進めていくとともに、ワクチンの接種をはじめ、今後も各市町村と県が協力しながら対策に取り組んでまいりたいと考えております。

本日の定例会は、会務報告や各種団体への役員の推薦などが主な協議事項であります。県からの施策説明も予定しております。

また、その後、プラチナ構想ネットワークの会長、小宮山宏さんからご講演をいただく予定ですので、どうぞご期待いただきたいと存じます。

ようやく新型コロナウイルス感染症の収束が見え始めた感がいたしますが、もうしばらく、このコロナとの闘いは続きそうでございます。本日もマスクなどで基本的な対策にぜひ取り組みをいただきたいと思っておりますし、また、会議自体が有意義なものとなりますようご祈念申し上げまして、定例会に当たりましてのご挨拶といたします。

大変お世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

### 3 当選市長紹介

(久保田事務局次長)

続きまして、本年4月に開催されました市長会総会以降に当選されました市長様をご紹介させていただきます。お名前をお呼びいたします市長様におかれましては、恐れ入りますが、その場で一言ご挨拶を頂戴したいと存じます。

4月24日投開票の伊那市長選挙におきまして、4選を果たされました白鳥孝伊那市長様です。

(白鳥伊那市長)

4月24日の市長選で4選目ということで市長になりました白鳥でございます。

やはりコロナによって時代が大きく変わっていることを実感しているところですが、コロナによって地方の時代がやってきたのだなというようにも思っております。一次産業にしても林業にしても、また、移住・定住もかなり動きが活発となってきておりますので、私たちは信州という名前のブランドを持っておりますので、ぜひ、市長の皆さんと一緒に、この地方の時代をしっかりと作ってまいりたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

それから、この後、水害に関するサミットがありまして、そこで発表しなければいけないので、これで抜けさせていただきます。よろしく願いします。

(白鳥伊那市長退席)

(久保田事務局次長)

ありがとうございました。

本日の定例会でございますが、非公開部分を除き会議録をホームページ上で公開する会議とし

ております。事務局において作成した会議録をご確認いただいた後、ホームページに掲載させていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

それでは、ここからは慣例により牛越会長に会議を進めていただきたいと存じます。牛越会長、よろしく願いいたします。

## 4 会 議

### (1) 会務報告

(牛越会長)

それでは、ただいまから会議に入ります。

はじめに、「会務報告」を議題といたします。会務報告はお手元の資料1のとおりですが、事務局長から何か補足説明がありましたらお願いします。

(青木事務局長)

会務報告については、先ほどの冒頭のご挨拶でも会長に触れていただいておりますので、また後ほどご確認をいただければと思います。

(牛越会長)

この件につきまして、何かご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

(牛越会長)

なしということでございます。それでは、ご発言がありませんので、会務報告については以上といたします。

### (2) 協議事項

#### 長野県市長会から選出する各種団体等の役職について

(牛越会長)

続きまして、協議事項に移ります。「長野県市長会から選出する各種団体等の役職について」、事務局長から説明をお願いします。

(青木事務局長)

それでは、資料2をご覧くださいと思います。市長会から選出いたします各種団体等の役職についてでございます。

最初に、会長に就任をお願いするものでは、郵政事業有識者懇談会の委員でございまして、継続して会長をお願いをいたします。

2番目の各部会の部会長以下部会員が就任するものでございますが、今回は、経済部会の所管の5件でございます。

長野県原種センターの理事に金子諏訪市長、長野県農業信用基金協会の理事に湯本中野市長、長野県緑の基金の理事に柳田佐久市長、長野県森林審議会の委員と一般財団法人長野県林業労働財団の理事に佐藤飯田市長、それぞれ引き続いてお願いさせていただくものでございます。

(牛越会長)

この件につきまして、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

(牛越会長)

「なし」ということでございます。この議案については、原案のとおり承認することとしてよろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

(牛越会長)

ありがとうございます。原案のとおりご承認いただきました。  
以上で協議事項を終わります。

### (3) 報告事項

#### ア 第23回「県と市町村との協議の場」について

(牛越会長)

次に、「報告事項」に移ります。第23回「県と市町村の協議の場」について、事務局長から説明をお願いします。

(青木事務局長)

それでは、お手元に資料の3ということで、複数枚のA4のペーパーをお示ししてございます。5月25日に、第23回「県と市町村との協議の場」が県庁の災害対策本部室、一部、防災テレビ会議システムをご利用いただきまして開催をいたしました。

出席者は記載のとおりでございます。

内容でございますが、意見交換は二つのテーマがございました。一つが「犯罪被害者等支援の充実に向けた連携強化について」、二つ目が「障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくりについて」ということでございます。

この2テーマについては、後ろにペーパーをつけてございますので、若干、ご覧いただきたいと思っております。

まず、最初の犯罪被害者等支援の充実に向けた連携強化につきましては、そこにありますように、犯罪被害者等支援の必要性を共有してほしいということと、それから県と市町村が連携強化して取り組む施策と体制の整備についての意見交換という趣旨でございました。

県からは記載の5点についての説明がございまして、意見交換の論点といたしましては、相互に連携を図りながら協力する体制づくり、居住支援等の施策の導入について、三つ目は市町村における条例の制定に向けた検討についてということございまして。

ご意見は色々出たところでございます。いずれにしましても、確認事項につきましては、県の段階で、今、文言も含めて整理を行っていただいていると承知してございます。本日は間に合いませんでしたので、後日、入手次第、私どものほうから各市にご連絡を申し上げてまいりたいと考えてございます。

県から、意見交換の提案という形で、このテーマについてお示しをいただきました。方向性としては、犯罪被害者等への適切な支援ができるよう相互に連携を図りながら協力する体制づくりを進めるという趣旨での意見交換の方向性ということございまして。

その次でございます。「障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり」ということでございます。趣旨につきましては、そこでございますように、県では「障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり条例」が制定されまして、この4月1日に一部施行、10月1日には全面施行ということで予定されているところでございます。

これを受けまして、県と市町村が連携して、県民や事業者共生社会の理念を浸透させるための効果的な取組についての意見交換を実施するというところございまして。県の説明は2点ございます。

意見交換の論点ということございまして、以下の3点が主なもので、情報保障、就労機会の確保、災害への対応という観点での意見交換がなされたところでございます。

確認事項の方向性は記載のとおりでございますが、共生社会の実現を目指し、県と市町村が連携して、行政社会の理念の浸透や合理的配慮の推進等を図るという趣旨でございました。

例えば、就労機会の確保の中では、農福連携という話も今はございますが、林福連携というような話も提案があったと承知をしているところでございます。

また、改めまして県の確認事項が取りまとめられましたら、お伝え申し上げていきたいと思っております。

1ページにお戻りいただきまして、今、申し上げましたのは意見交換の二つのテーマでございますが、2点目で報告事項がございました。

自治体の広域連携についてということございまして、これにつきましては、消防の広域化でございますとか公共交通の問題、下水道の問題等、3点について報告がありましたけれども、出された意見としましては、できるだけ速やかに検討すべきものではないかということで、検討のスピードアップ等についてのご指摘もいただいたところでございます。

それから、「その他」でございます。長野県価格高騰緊急対策の骨子（案）につきましてお示しいただいたところでございますが、これにつきましては、意見交換の際、県から市町村への早期の情報提供と、市町村の状況把握・情報共有等が課題となったところでございます。

これを受けまして、翌日には県から、国や市町村、関係機関の施策を有機的に結びつけて効果的な取組をするために、市町村独自の対応状況、それに係る予算審議の日程を把握するための調査が出されたところでございまして、昨日までの回答期限ということで調査がなされたこと承知をしているところでございます。

県におきましては、翌日には対応していただいたというように思っております。

それから、その下の同性パートナーシップでございますが、これにつきましても、県からの情報提供といいますかお話しがございました。ご案内のとおり、既に松本市さん、それから駒ヶ根市さんでは実施されておりますし、長野市さんでは検討が進められている中ではございますけれども、多少、各市町村によりまして温度差がございますので、いわゆる勉強会というようなものの実施というか、そのような場を設けてはどうかというような方向性も出されたところでございます。

繰り返しになりますが、以上、県で文言の整理等をされました段階で、情報提供を申し上げたいと思います。

なお、当日の資料につきましては、既にこの会議に先立ちましてメール等でお知らせいただいておりますので、部数の関係もございましたので今日はお持ちしてございません。そういう面では分かりにくかったかもしれませんが、お許しいただきたいと思っております。

簡単な説明で恐縮でございますが、協議の場の関係でございます。

(牛越会長)

少し補足いたします。「その他」の中で、県が国の地方創生臨時交付金を活用しながら、6月の議会にそうした緊急対策、特に価格高騰に対する緊急対策を予算化して、補正予算を提案するというようなお話がありました。

その際に、やはり町村は県議会よりもやや早めの議会が大体予定されているので、こうした情報については、県の施策と市町村の施策が重複することのないように、ぜひ、早め早めの情報提供をお願いしたところでございます。

また、同性パートナーシップ制度については、特に町村側の皆さんからは、なかなか状況が厳しい、そうした状況が実際に起こるのかどうかというような意見が出されたことに伴いまして、研究検討の段階から県と市町村がじっくり協議しながら進めたらどうかという意見を申し上げておきました。

その結論については、今、事務局長が説明したとおり、県においてしっかり検討してみるということでございます。

これらについて、ご質問等ございませんか。

(「なし」の声あり)

(牛越会長)

では、この報告事項については以上といたします。

## イ 第151回総会について

(牛越会長)

次に「第151回総会について」、事務局長から説明をお願いします。

(青木事務局長)

特に資料は申し上げてございませんけれども、次第に記載をさせていただいております。8月18日開催予定の第151回総会は、飯田市さんで開催をさせていただくものでございまして、現在、鋭意飯田市さんでご準備をいただいているというように承知をしているところでございます。

今年は、視察とか懇親会も含めて開催できるものと期待をさせていただいているところでございます。

なお、市町村課長を通じまして、県の知事等の出席についても今、依頼をさせていただいているところでございます。

なお、長野県民交通災害共済組合の会議も併せて開催させていただく予定でございまして、どうぞよろしくお願いをしたいと思います。

(牛越会長)

この件につきまして、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

(牛越会長)

なしということでございます。

飯田市長さんには大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いたします。

報告事項は以上といたします。

#### (4) その他

(牛越会長)

次に「その他」としまして、はじめに、三木須坂市長さんからご発言の申出をいただいておりますので、須坂市長さん、お願いたします。

(三木須坂市長)

一番下のほうに資料がございますので、ご覧いただきたいと思います。

まず、公益財団法人村石スポーツ振興財団という資料がございますが、簡潔に申し上げますと、須坂出身でスターツという会社を創業されました村石さんという方が、今年、公益財団法人を長野県内につくられました。そして、卓球の伊藤美誠さん等の支援をされておられますので、スポーツの大会等を支援していきたいということでもありますので、ぜひ、また募集要項等を読んでいただきまして、積極的に応募していただければ大変ありがたいと思います。

それから、次の資料でありますけれども、地方分権改革に関する提案募集ということでございます。前に県の市長会でもお願いしまして、北信越市長会でも採択され、また、全国の市長会でも明日、採択される予定でありますけれども、保育室等の居室面積に係る基準について、「従う

べき基準」から「参酌すべき基準」へ変更を求めるものであります。

これにつきまして、須坂市と長野県で出していただきまして、また、国の地方分権のほうから、これに対する同意といたしますか賛成といたしますか、そういうような意見を求められますので、ぜひ、共同提案という形で、ご照会がありましたら、用紙だけ出していただければ共同提案になりますのでお願いします。

と申しますのは、厚生労働省から、昨年出したときに、あまり全国各地から共同提案がないではないかということをおっしゃったので、ぜひ、地方分権の推進の観点から、また、待機児童、それから待機児童には至りませんが、第一希望に対して入所できないというような事例がありますので、できるだけ居室面積の基準を緩和してほしいということでもあります。

これにつきましては、それぞれの市が判断すべきことで、市の実情に応じてやっていただくということになりますので、今、申し上げましたように、内閣府から照会がありましたら、共同提案に賛成するというようお願いできればと思います。

それから、白鳥伊那市長からお願いされたのですけれども、『シルク時空をこえて』という非常にいい映画がございます。実は、この監督の熊谷さんという方は、白鳥市長と同級生ということでもあります。私も須坂で2回、ボランティアの方々が上映した映画を見たわけでもありますけれども、製糸を通じて様々な、裏面に書いてございますが、当時の日本のシルク産業がいかにすごかったかということ。岡谷、信州を中心に、飛騨、福島、上州、横浜、そしてアメリカ、フランスへということで取材した映画でありまして、淡々と事実関係を題材にしております。これを上映していただければということでもあります。

上映については、ボランティアつきでそれほどお金のかからない形で上映してござっております。そして、この映画の制作に当たっては、伊那のKOAさんのほうで大変な協力をしているということでもありますので、ぜひ、またこの映画を上映していただければということで、お願いした次第であります。

よろしく申し上げます。

(牛越会長)

ありがとうございます。3点についてご説明いただきました。まず、ご質問等はございませんでしょうか。

(今井岡谷市長)

ありがとうございます。

(三木須坂市長)

親戚のご先祖様も出てきますので。

(牛越会長)

三木市長さん、これを上映したいというような場合には、どこへ申込みをしたらよろしいでしょうか。

(三木須坂市長)

ここです。

(牛越会長)

分かりました。実行委員会のほうですね。

(三木須坂市長)

これは『あゝ野麦峠』の誤解が解けますので。

(牛越会長)

そうですね。決してあんな悲惨なものではなかったというようにお話を伺いました。

(今井岡谷市長)

KOAさんも、基本は製糸業からスタートしているそうです。そんなこともありまして、いかにものづくりの基礎になっているかというようなことが出ていますので、ぜひ、よろしく願いいたします。

須坂市長さん、ありがとうございます。

(三木須坂市長)

前から今井さんに話を聞いていたもので、今井さんのご親戚というかご先祖様が。

(牛越会長)

そうなのですね。分かりました。

それから、もう一つご説明いただきました保育室の居室面積に関する基準を「参酌すべき基準」への変更ですが、これは須坂市長さんからは4、5年前から提案をいただいています。共同提案に参加するのはどのタイミングですか。

(三木須坂市長)

照会が来てからでいいそうです。

(牛越会長)

よろしいですか。分かりました。

では、そのようにお持ち帰りいただきご検討いただきたいと思います。

ただいまの三つの説明につきまして、ご意見等はございませんか。

(三木須坂市長)

すみません。せつかくですから。

村石スポーツ振興財団は今年1年目なものですから、今年応募が多ければ多分額を増やしてくれるのではないかと考えていますので、ぜひ。私が言うのも変ですけども、どれぐらい熱意があるかということがすごく大事なもので。

どんな大会でもいいそうなので。ただし、市町村主催の大会というよりも、できれば民間の形の大会にしてもらえれば。

(「既存の大会に置き換えれば。」の声あり。)

(三木須坂市長)

いいです。私がいいというか、審査がありますが。いいと思います。

(金子諏訪市長)

応募は何でもいいですか。

(三木須坂市長)

ええ。お願いします。

(牛越会長)

細かいことですが、例えば、市の体育協会などが主催し、あるいは市も実行委員会に入っているような場合も、まずはチャレンジしてみるということでしょうか。

(三木須坂市長)

担当の人はチャレンジしてくださいと言っていました。

詳しくは、このところへ尋ねていただくと。千曲市の清風園の中に事務局をわざわざ設けています。

19市全部を回ったと言っていました。

(牛越会長)

そうですか。分かりました。

私どもも去年、コロナの中で一生懸命アルプスマラソンを規模を縮小してやったのですが、やはり財源不足で厳しいですね。

ぜひ、皆さんにおかれましても活用策をご検討いただければと思います。

(三木須坂市長)

マラソンはいいかもしれません。マラソンの選手もよく支援しています。

(牛越会長)

分かりました。

この三つの件について、ほかにご発言はございませんか。  
詳しいことをお知りになりたい方は、須坂市長さんへお伺いください。

(三木須坂市長)  
清風園へ聞いてください。

(牛越会長)  
失礼いたしました。  
それでは、この件は以上といたします。  
ほかにも、せつかくの機会がございます。市長さん方から、何かご発言がありましたらお願いいたします。

(三木須坂市長)  
皆さんご存じだと思うのですが、ここの8階に防災図書館というのがあります。行っていただくと、すごく色々な資料がありますので、ぜひお出かけください。

(牛越会長)  
ありがとうございました。  
ご質問等はございませんか。よろしいですか。  
それでは、「その他」の部分については以上といたします。

## 5 県からの施策説明（非公開）

## 6 閉会

(牛越会長)  
ここで、会議はいったん終了いたします。お疲れさまでございました。